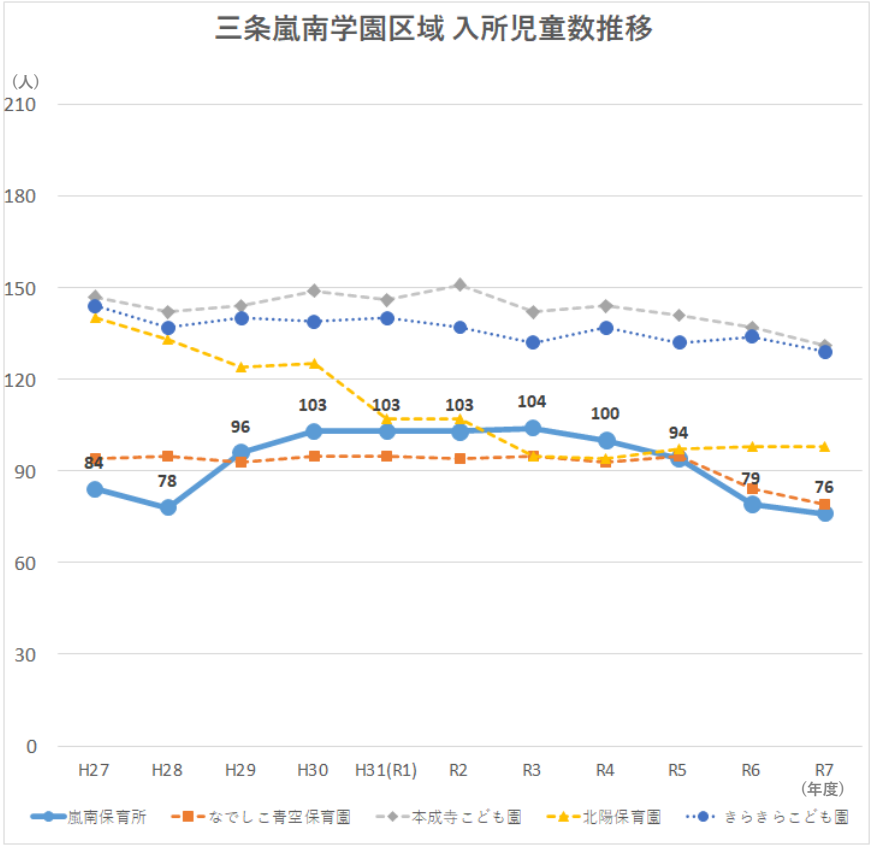
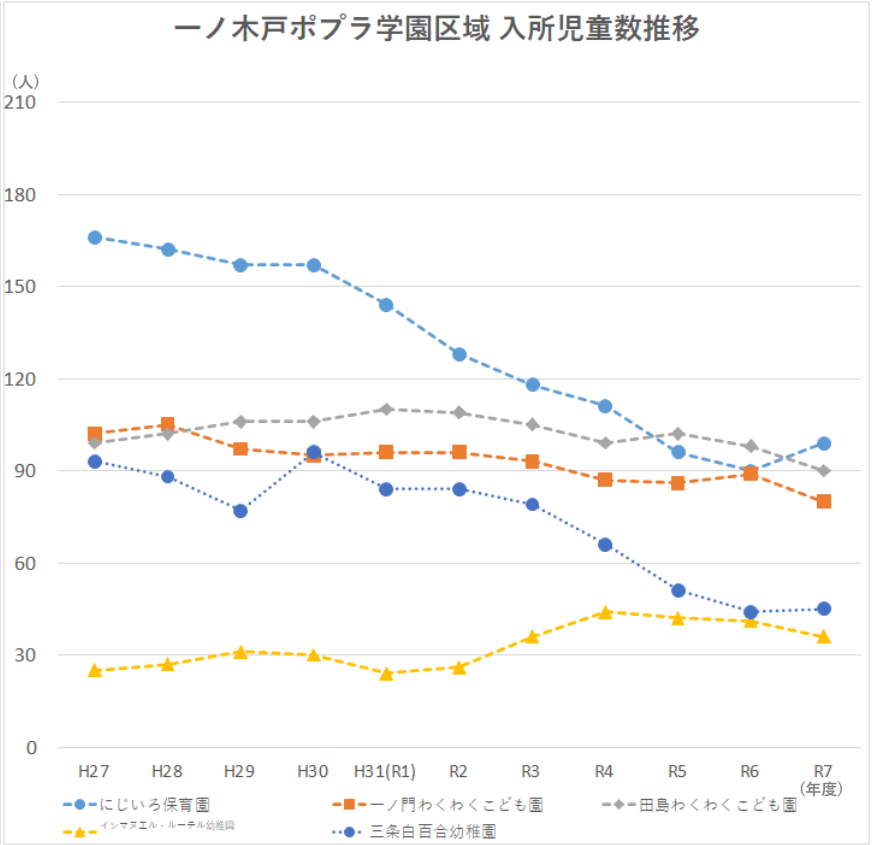
# 資料7-1 施設別入所児童数の推移について（平成27年度～令和７年度）

※各年３月31日現在
※H27～R２の私立幼稚園は、５月１日現在の児童数を使用



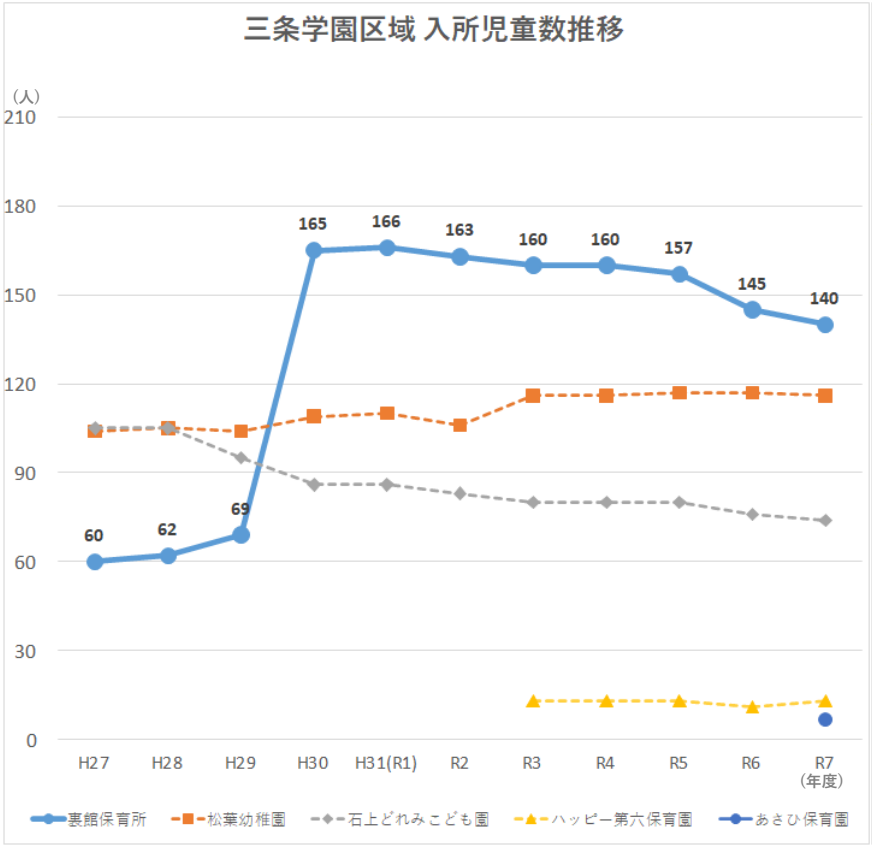

市内で最も多くの保育需要を抱える地域である。嵐南保育所、なでしこ青空保育園では減少傾向が見られる一方、本成寺こども園、きらきらこども園は一定の入所児童数を維持している。



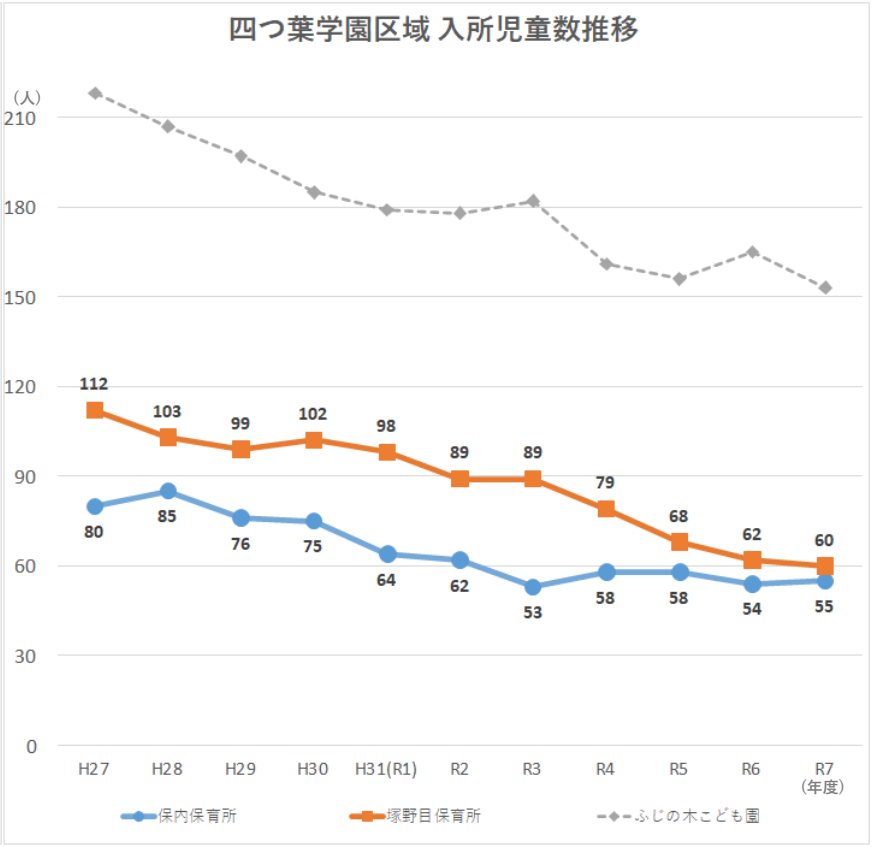

地域全体では減少傾向にあり、にじいろ保育園、三条白百合幼稚園では減少が見られる一方、一ノ門わくわくこども園、田島わくわくこども園は概ね横ばいで推移している。

# 資料7-2　施設別入所児童数の推移について（平成27年度～令和７年度）

※各年３月31日現在
※H27～R２の私立幼稚園は、５月１日現在の児童数を使用



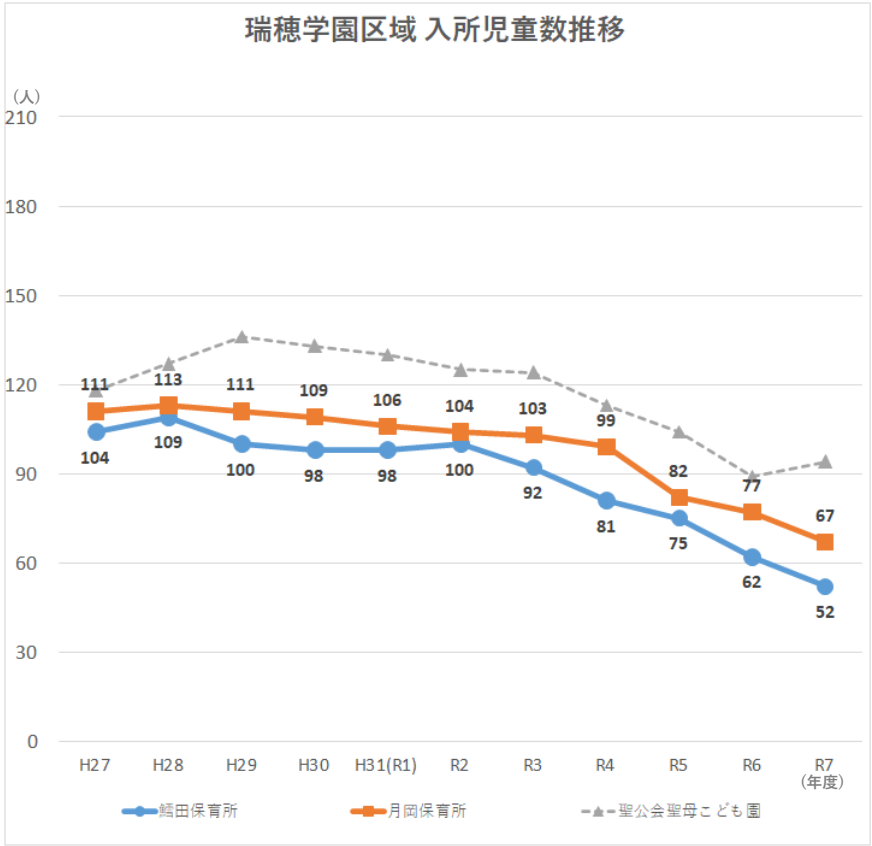

平成30年度の旭保育所との統合により裏館保育所へ入所児童が集約され、一時的に増加したものの、その後、地域全体では入所児童数が減少している。



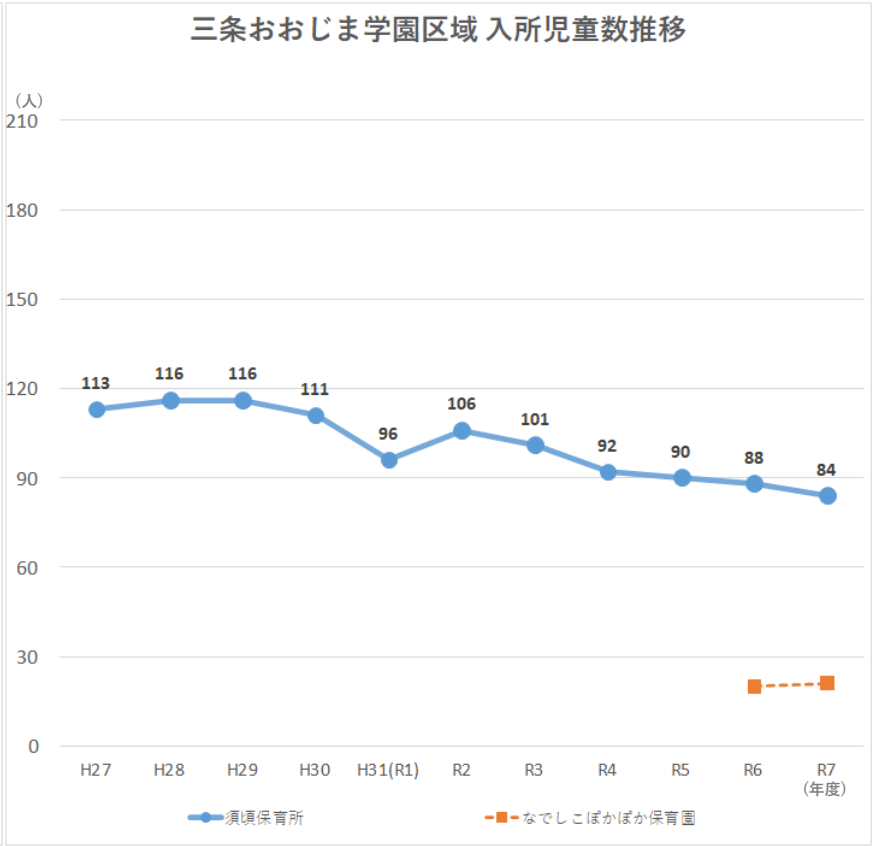

地域全体として入所児童数は減少傾向にあり、ふじの木こども園、保内保育所及び塚野目保育所のいずれにおいても減少が見られる。

# 資料7-3　施設別入所児童数の推移について（平成27年度～令和７年度）

※各年３月31日現在
※H27～R２の私立幼稚園は、５月１日現在の児童数を使用



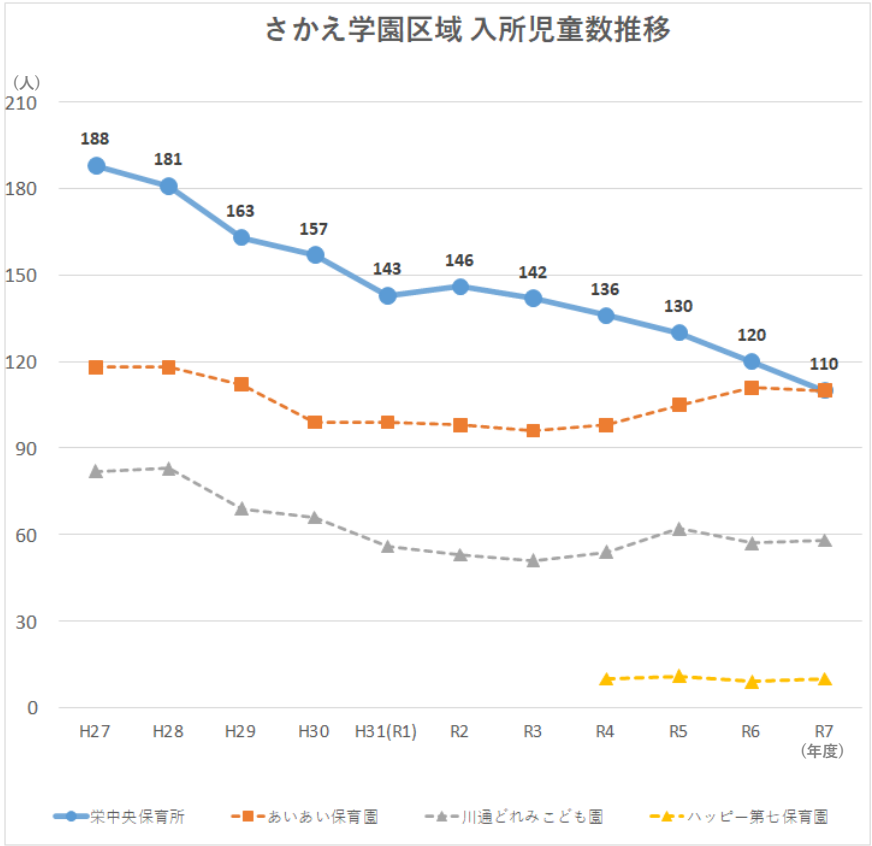

地域全体として入所児童数は減少傾向にあり、特に月岡、鱒田保育所の減少が顕著となっている一方、聖公会聖母こども園は一定の入所児童数を維持している。



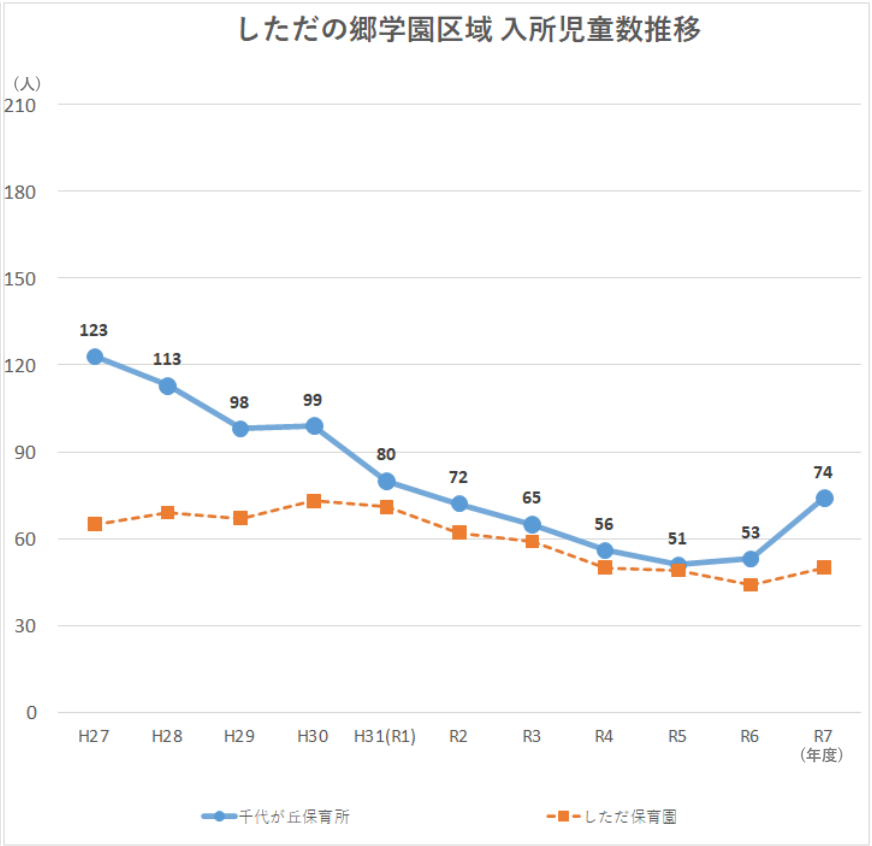

市内で最も保育需要が少ない地域であり、近年は新たな施設が開設されるなど、保育提供体制が変化している。

# 資料7-4　施設別入所児童数の推移について（平成27年度～令和７年度）

※各年３月31日現在
※H27～R２の私立幼稚園は、５月１日現在の児童数を使用



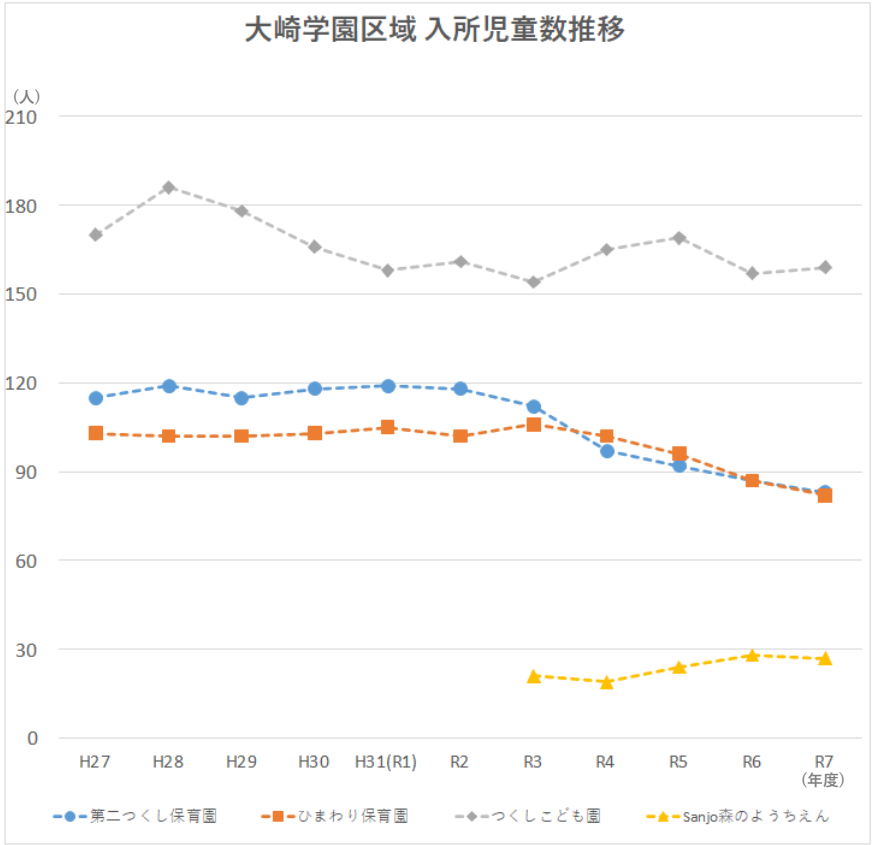

地域全体として入所児童数は減少傾向にあり、特に栄中央保育所の減少が見られる一方、あいあい保育園は概ね横ばいで推移している。



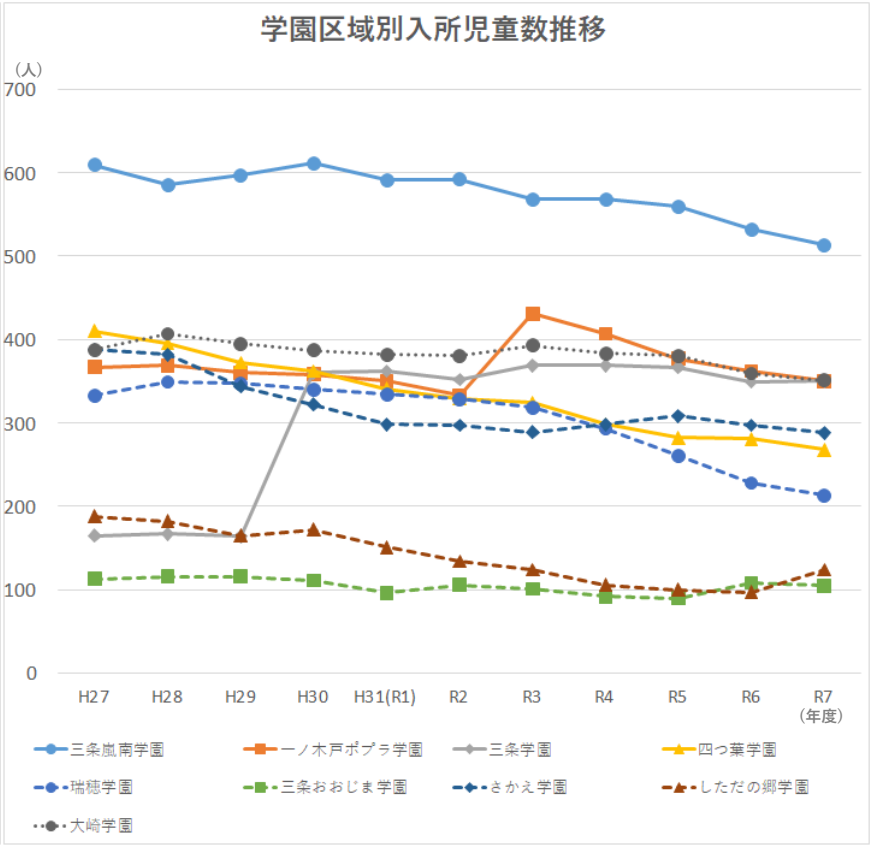

令和７年度のおぎぼり・あらさわ・いいだ保育園の統合に伴い、２施設とも入所児童数は増加したものの、地域全体では市内でも小規模な保育需要となっている。

# 資料7-5 施設別入所児童数の推移について（平成27年度～令和７年度）

※各年３月31日現在
※H27～R２の私立幼稚園は、５月１日現在の児童数を使用




つくしこども園は150人程度の入所児童数を維持している一方、第二つくし保育園及びひまわり保育園では減少傾向が見られるなど、施設ごとに入所状況の差が見られる。




学園区域により保育需要の規模や推移に差が見られ、三条嵐南学園は約500人規模を維持する一方、三条おおじま学園及びしただの郷学園では100人程度となっている。また、同程度の規模の学園においても、減少傾向に差が見られる。